

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

画像情報機器およびその周辺機器の分野において、地球環境や気候変動への配慮を基盤に、各産業分野の生産性向上と業務革新に貢献する。

売上総利益率
25%以上

2 中長期の経営戦略

1. 販売力の増強

北米市場でのデジタルマーケティング・セールス支援の拡大。デジタルカスタマーサポート、テクニカルサポート、トレーニング充実により販売・アフターセールスの生産性向上を実現。

3. 環境側面の充実

DXに向けたソフトウェア進化で操作性向上、データ活用高度化、ネットワーク対応強化。生産・販売部門のリアルタイム連携で在庫最適化・納期短縮実現。

2. 現行分野応用と新事業

カラー性能、DX、環境配慮を強化した高付加価値プリンタ開発。繊維・セラミック・建材分野ヘドライトナーとデジタルプリント組み合わせ製品展開。

4. 市場ニーズへの対応

個別・特定業界のユニークなワークフローに対しハード・ソフト両面に対応可能な体制整備。業界商品追加で投資非積極的ユーザー層にも対応。

3 対処すべき課題

① オフィス環境変化と需要減少

- ・デジタルワークフロー採用によるオフィスプリント入出力減少に対応
- ・パンデミック以降のオフィス環境変化でアフター市場がスケールダウン
- ・ユーザーの機械入れ換え選択が慎重化する状況への対応

② コスト高騰と収益性低下

- ・生産・販売・オペレーション費用高騰による収益性低下に直面
- ・グループ内オペレーションのオンライン化で即時把握と供給最適化を推進
- ・物流コスト軽減と迅速出荷対応で事業信頼感向上

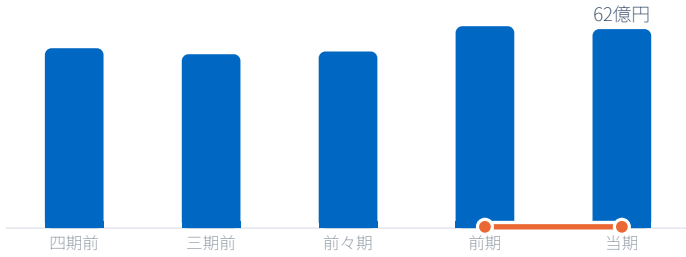
③ 地域市場の競争環境変化

- ・一部市場で地産商品偏りにより従来型競合とは異なる競争環境に直面
- ・市場標準技術が当社製品と異なる方向に進行する地域への対応
- ・現地市場に合った業界商品供給で市場での位置付け強化

面接で使えるポイント

- ・画像情報機器分野で地球環境配慮を基盤としながら、製造業・流通業・建築業など多岐にわたる業界に循環型ビジネスモデルで貢献す…
- ・デジタルプリント市場の成長性を捉え、電子写真技術を基盤にDX推進で高付加価値製品開発と省人化・省エネを実現する戦略
- ・オフィスプリント減少やコスト高騰という経営環境下で、ハード・ソフト・人材融合とオープンイノベーションにより持続可能な成長…

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社及び子会社 6 社並びに関連会社 2 社、株式会社三桂製作所（その他の関係会社）及び

主力事業・セグメント

・ 機械（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 平均勤続28.7年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
62億円営業利益率
▲6.0%財務健康度
37点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 33.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
424万円平均年齢
54.8歳平均勤続
28.7年

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

